
COLLECT ;

機能 :

COLLECT は、一連の TSP のコマンドの集まりをそれが実行される前に一括して入力するためのものです。

使用法:

このコマンドは、対話型モードにおいて PROC, IF-THEN-ELSE, DO および DOT コマンドのように流れを制御するコマンドを使用する際に用います。このコマンドにより、対話モードの中においても、COLLECT モードを終了させるまでコマンドを実行させずに入力させることができます。

COLLECT モードを終了させる方法は2つあります。

1. EXEC コマンドにより、COLLECT モードで入力されたコマンド群を実行させることでできます。対話型モードでの EXEC コマンドと異なり、引数 (実行する文番号) を必要としません。
2. EXIT コマンドを入力することにより、COLLECT モードで入力されたコマンド群を実行させずに終了させます。この場合、入力されたコマンド群は保存されており EXEC コマンドでいつでも実行可能です。

COLLECT モードで入力したコマンド群を、実行させる前に修正することがあります。そのために EDIT と DELETE コマンドの2つが準備されています。このコマンドは COLLECT モードで入力中であっても利用可能です。もちろん、途中であきらめて EXIT コマンドでいつでもやめることができます。

ヒント: ユーザーのなかには、頻繁に使用する PROC 文や一連のコマンド群を、どこかに保存して簡単に検索して使用したいということがあると思います。この場合は、INPUT コマンドを利用すると便利です。INPUT コマンドは COLLECT コマンドと同じです。両者の差は COLLECT コマンドが対話的に入力するのに対して、INPUT コマンドはそれをファイルから入力する点です。詳しくは INPUT コマンドを参照してください。

注意: COLLECT モードの入力中になんらかの理由で強制終了する場合は、EXIT コマンドでいつでも対話モードに戻ることができます。

例:

1? **COLLECT**

Enter commands to be collected:

2? **PROC X**

3? (other statements)

4? **ENDPROC X** < --- proper end to structure

5? **EXIT**

コレクトモードは常に対話モードで使用し、終了すると常に対話モードに戻ります。